



笑顔招福～SMILEFUL 潤徳小～

# 潤徳だより



進行中！

敬愛 自由 勤労

日野市立潤徳小学校 学校だより 4月号 校長 斉藤 郁央 令和6年4月8日

## 開校 150 周年のレガシーを「子供たちがつくる学校プロジェクト」へ！

校長 斉藤 郁央

本校にとって、「日野市市制 60 周年 開校 150 周年記念」という大きな節目であった令和5年度。令和6年度は、160 周年、そして 200 周年を見据えた新たな歴史が始まる第一歩となります。さらに、日野市では、今年度から「第4次日野市学校教育基本構想」に基づく新たな教育がスタートします。

本校にとっても、本市にとっても、今年度は、新たな「ひのっ子」を育てていく重要な1年になるわけです。

本基本構想では、学校が「8+のプロジェクト」による独自の主体的な取組を進めることになっており、本校では、令和5年度の3学期の段階から「『子供たちがつくる学校』プロジェクト」を先行して進めております。

昨年度は開校 150 周年を盛り上げるために、代表委員会の児童を中心に、オリジナルのイベントを次々企画し、「自分たち自身でよりよい学校をつくっていこう」という意識が高まりました。今年度は、この「レガシー」を大切に、さらに「子供たちがつくる学校」の実践を積み重ねたいと思います。

その1つとして、本校が今年度、東京都教育委員会から「令和6年度『笑顔と学びの体験活動プロジェクト』における『学校企画・提案型』実施校」の選定を受けたことを本プロジェクトにつなげます。

具体的には、今年度は外部に公開する文化的行事として「音楽会」を予定しています。東京都教育委員会との連携の下、著名な音楽家等の指導を継続的に受け、「子供たちがつくる音楽会」として、オリジナリティのある行事にしたいと考えております。どうぞ、ご期待ください。

さらに、昨年度は、閉校した山都町立潤徳小学校との「東西潤徳小学校コラボレーション」が「令和5年度日野市教育委員会特色ある学校づくり支援事業」の対象となりましたが、今年度も新たな取組を「令和6年度日野市教育委員会特色ある学校づくり支援事業」の対象として認めていただきました。

内容は、「Jyuntoku Dream Teacher's Academy」の創設です。

近年、教員のなり手が急激に減少しています。新しい教育である「第4次日野市学校教育基本構想」の理念を実現するには、夢と希望をもって教職を目指す人材の確保が急務な状況です。本校は、令和4年度から東京都教育委員会の制度である「東京教師養成塾」の教師養成指定校を受けており、教員を目指す大学生の特別教育実習を受け入れています。こうした、学生の育成のノウハウを生かし、将来の本市の教育を担うことができる人材の発掘・育成のシステムを構築し、本市の教育の質の向上につなげていくことをねらいとした事業を進めます。

本校の児童にとっても、これから教員を目指す意欲の高い学生とたくさん関わることで、一緒に学んだり、遊んだりする楽しい経験が多くできるように考えています。

今年度は新しい1年生 114 名を迎え、全校児童 710 名でのスタートになりました。こうした、本校の新たな取組を生かしながら、本校のキャッチフレーズである「笑顔招福～SMILEFUL 潤徳小～」につながるよう、笑顔あふれる学校づくりを進めてまいります。

今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。



私(右)と辻副校長(左)とで協力し、新たな潤徳小を引っ張ります！



### 今月の目標

- 生活目標 持ち物に名前をきれいに書こう。
- 人権目標 自分から元気にあいさつをしよう。
- 給食目標 当番や係の仕事を協力して進めよう。